

I 第30週の発生動向 (2015/7/20~7/26)

1. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で第21週から**警報**が継続しています。
2. 手足口病については、上十三保健所管内で第27週から、弘前保健所管内で第28週から、八戸保健所管内で第29週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が161人から82人に減少しました。
4. インフルエンザの患者報告数は2人で、迅速診断キットによる型別はすべてA型でした。

II 第30週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ	1	0.08			1	0.07							2	0.03	-1
RSウイルス感染症	1	0.13			5	0.50							6	0.14	-2
咽頭結膜熱	1	0.13	8	0.89	2	0.20	1	0.20	1	0.17			13	0.31	-7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.13	4	0.44	32	3.20	1	0.20	7	1.17	1	0.25	54	1.29	-1
感染性胃腸炎	20	2.50	8	0.89	16	1.60	11	2.20	11	1.83	16	4.00	82	1.95	-79
水痘	3	0.38			1	0.10			1	0.17			5	0.12	-7
手足口病	31	3.88	32	3.56	84	8.40	1	0.20	117	19.50	5	1.25	270	6.43	70
伝染性紅斑			4	0.44	5	0.50	1	0.20	6	1.00			16	0.38	-14
突発性発しん	6	0.75	6	0.67	11	1.10			4	0.67	4	1.00	31	0.74	10
百日咳															0
ヘルパンギーナ	4	0.50	7	0.78					3	0.50	1	0.25	15	0.36	3
流行性耳下腺炎	3	0.38			1	0.10	1	0.20			1	0.25	6	0.14	-2
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	3	1.50			2	1.00			7	0.64	5
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															-1
マイコプラズマ肺炎					1	1.00							1	0.17	-3
無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.00					1	0.17	-1

■は警報、■は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):八戸2人(2015年計:173人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患):八戸1人(2015年計:5人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

流行性耳下腺炎 (五類定点把握疾患)

流行性耳下腺炎は片側あるいは両側の唾液腺の腫脹を特徴とするウイルス感染症です。ムンプスウイルスが原因の病原体で、「おたふく風邪」とも呼ばれています。

臨床症状は、2~3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て、唾液腺の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱を主体として発症し、通常1~2週間で軽快します。唾液腺には耳下腺、顎下腺、舌下腺があり、腫脹は両側、あるいは片側の耳下腺に見られることがほとんどですが、顎下腺、舌下腺にも起こることがあります。接触、あるいは飛沫感染で伝播しますが、その感染力はかなり強いです。

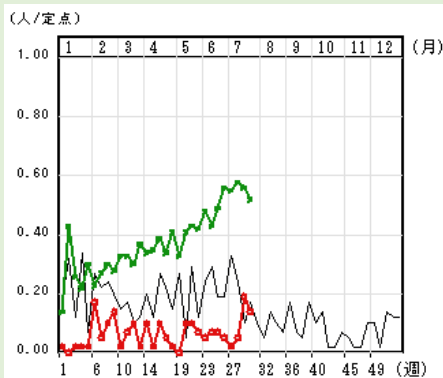


図:2015年の定点当たり患者数推移

最も多い合併症は髄膜炎で、その他髄膜脳炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴、肺炎などを認める場合があります。流行性耳下腺炎及びその合併症の治療は基本的に対症療法です。また、効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法です。

今年の全国における定点当たり患者数の推移を見ると、1月以降現在まで緩やかな増加傾向を示しています(左図)。青森県においては増加傾向は見られませんが、今後の動向に注意が必要です。

【参考】国立感染症研究所 HP

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第20週～2015年第30週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
20	H27.5.11 ~ H27.5.17			侵袭性肺炎球菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人			
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	つつが虫病1人 梅毒1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		侵袭性インフルエンザ菌感染症1人	急性脳炎1人		つつが虫病1人 梅毒1人	
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	つつが虫病1人 ウイルス性肝炎1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	つつが虫病2人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人 侵袭性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人
25	H27.6.15 ~ H27.6.21		腸管出血性大腸菌感染症3人	侵袭性肺炎球菌感染症1人			細菌性赤痢1人
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	腸管出血性大腸菌感染症1人				侵袭性肺炎球菌感染症1人	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	腸管出血性大腸菌感染症12人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	腸管出血性大腸菌感染症7人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19		アメーバ赤痢1人	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人
30	H27.7.20 ~ H27.7.26			梅毒1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第20週～2015年第30週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
20	H27.5.11 ~ H27.5.17	4		1		1	2
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	1	1	1		3	
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		1	3	1		1
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	2	1	4		1	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	3	1	1			
25	H27.6.15 ~ H27.6.21	2		1			
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	2		3		2	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	2	2	2			1
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	1		1			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19	2		1	1	2	
30	H27.7.20 ~ H27.7.26			2			

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第28週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	チング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	野兔病	ライム病	レジオネラ症
累積報告数	12638	3	78	1322	21	22	107	150	8	5	2	27	11	70	127	70	4	21	1	3	690
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	6	584	134	690	283	9	94	253	746	39	132	18	1418	164	1207	66	52	29	107	24	18

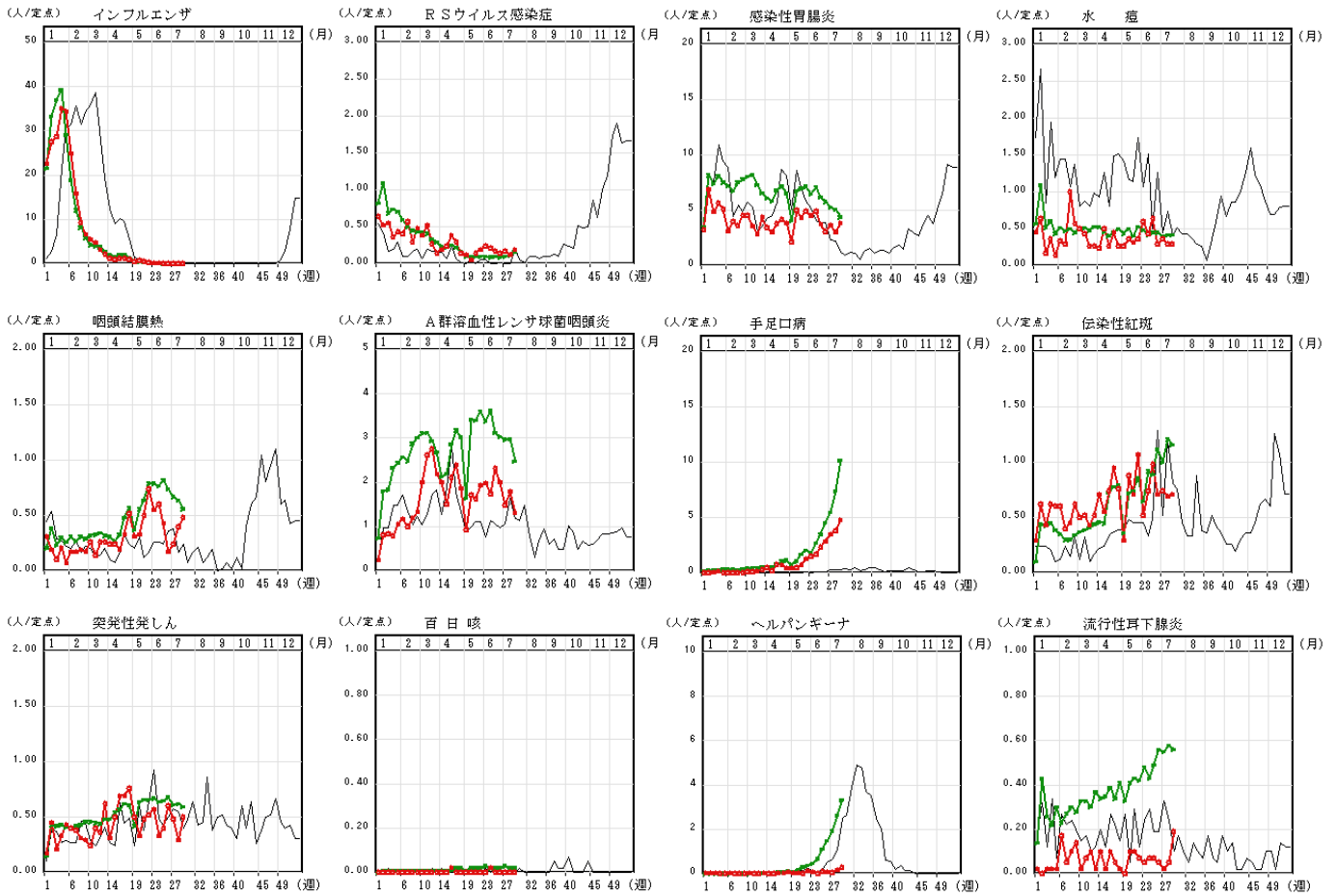
青森県

(2015年第1週～第30週累計)

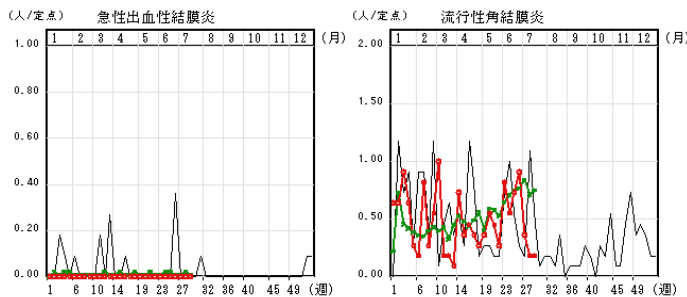
分類	二類	三類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症
累積報告数	173	34	1	8	6	1	9	1	1	2	2	2	12	2	2	5

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第29週)

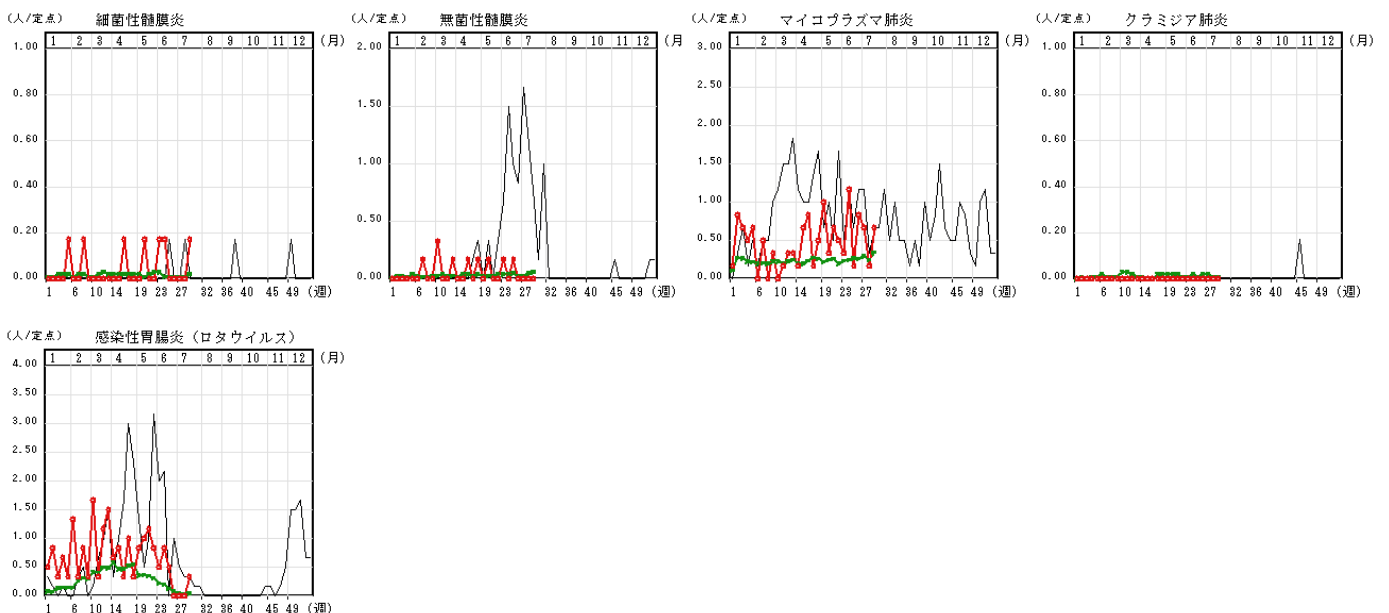
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第29週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第29週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第30週は報告がありませんでした。

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27週	28週	29週	30週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	0	1	0	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	0	28	0	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	0	1	0	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	0	28	0	0	428